

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：奈良

グループ： 1班

2020.10.04

いま日本に必要なICTのあり方

新しい生活様式

- A : 皆で集まらない、テイクアウト
- B : 感染症対策、消毒
- C : 通販
- D : 出前配達が増えた
- E : 直接人と関わる事が少なくなった
- F : 皆で集まらない

自粛の風潮によって

- ・ ライブ会場、飲食店、人の多い場所



- ・ 密室空間→屋外◎

- ・ **緊急事態宣言** →外出の制限

- ・ **GO TO TRAVEL** →海外、県外△近場○

↳政府によるもの

行動制限禍での良かった点

- 趣味・家族との時間が作れた
- 危機管理能力がup
- 通勤時間が省かれる
- 動画配信で復習



これからの生活様式について

- ・ イベントの 中止 ではなく **延期**
- ・ 感染症を減らして、**元の生活**に戻す
- ・ **最低限の生活**の保証
- ・ **SNS**の使い方を意識
- ・ **医療技術**の向上
- ・ **ネット環境**の改善



まとめ

①生活が新しくなる中でも、直接みんなが集まって出来るに越したことはないものもある。

(例) パーティー、旅行(修学旅行)、ライブ等。

→気軽に外食・娯楽を楽しみたい

⇒思い出やアルバムに残るものは、元に戻るようにしてほしい！！

まとめ

②人数の少ない島、村での子供たちに
オンラインで新しい形式の授業を行う等
コロナ禍を通して培った技術をこれからも活用する
べきでもある



https://www.google.com/imgres?imgurl=https%3A%2F%2Fwww.projectdesign.jp%2F201603%2Fimages%2Fgazu%2F72_3.jpg&imgrefurl=https%3A%2F%2Fwww.projectdesign.jp%2F201603%2Ffict%2F002749.php&tbid=E2h9kGJfMZg8PM&vet=12ahUKEwiPv8T5pJrsAhUN6ZQKHV9eDbYQMygAegUIARCTAQ..i&docid=MQh8x0EaqrGnZM&w=630&h=355&q=%E3%80%80%E3%80%80%EF%BC%A3%EF%BD%8D%E3%80%80%E7%B9%8B%E3%81%8C%E3%82%8B%E3%80%80%E6%8E%88%E6%A5%AD&ved=2ahUKEwiPv8T5pJrsAhUN6ZQKHV9eDbYQMygAegUIARCTAQ

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地： 奈良 グループ： 2班 2020.10.04

オンラインをもっと取り入れたい！

私たちの中で出た意見

オンラインにはデメリットもある・・・

- ・ 端末の機種や回線によっては、使用できないことも。
→ オンラインが普及することのメリットを伝えることで、皆が使える環境を整えていく。
- ・ 情報の取扱い方・伝え方にも注意が必要になる。
→ 自分の気持ちを伝えやすいツール（スタンプ、絵文字など）や、
誤字修正・予測変換の機能も普及させていく。
- ・ 地方など、ネットはオンラインが普及していない場所もある。
→ 地方こそ、オンラインの使用を進めていくべき！
(オンライン授業だけでなく、通信販売なども地方でこそ発展すべき。)

☆ ICTが普及して進化すればするほど、デメリットは減っていく！

オンラインをもっと取り入れたい！

オンライン授業だと・・・

コロナ禍だけでなく、体調が悪いとき・自然災害が起きた時にも使える！

→ 対面授業は残しつつ、苦手な部分の補修や自分のスキルアップをオンラインで。

オンラインの質問箱だと・・・

先生が忙しいときや、人見知りな生徒も使いやすい。

文章にして返答することで、聞き逃しや先生側のタイムロスも減らせる！

オンライン利用の他のメリット

勉強面だと・・・

小テストを各自でダウンロードして、復習などに使える！

オンライン授業や解説動画が普及すれば、何度も見返すことができる！

他にも・・・

全校集会で利用すれば、集まるまでの時間・手間が省ける！

紙の削減・プリントを配る手間も省ける。

☆オンラインの利用で、便利になる・手間が省けることが多い！

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：奈良

グループ： 3班

2020.10.04

オンライン社会に生きる私達

学校生活①

学校側の主な対策内容

ClassiやGoogle Classroomの使用

→課題などをデータで配布

→YouTubeのリンクを送信

YouTubeで授業動画を配信

→受け取ったリンクから視聴



学校生活②

学校のオンライン化によるメリット

資料などがオンラインでデータとして配布されるので紙とは違って失くすという心配がない！

今まで通学などに使っていた時間が別のことに使える！

学校生活③

学校オンライン化で発生した問題

◎授業によっては**質問ができない**

◎監視の目がないため、**緩慢になりがち**

◎使用ソフトが学校によって異なるため、**進度に差が出る**

学校生活④

解決策...

⚠ 長時間の授業で健康を害する可能性が高い
→ 何分かおきに休憩をはさむ

◎ 使用ソフトの統一化

配信サービス等

TV→配信サービスへ

コロナ禍では...

- ・ 学校のオンライン授業、動画
- ・ スポーツ観戦、オンラインライブ
 - ・ ゲーム配信

メリット

- ・ 一般人でも発言ができる
- ・ 配信で収入が得られる
- ・ 同じ趣味の人と繋がれる

コロナでもインターネットなら色々なことができる！！

デメリット

- 配信サイトのネット混線
- コメント欄などへの誹謗中傷
- 依存問題

これらを解決するために何ができるか？

解決策の提案

- ・ ネット回線のさらなる開発、効率化
- ・ コメント欄の誹謗中傷につながる言葉をリアルタイムで検知できるシステム作り

そのためには...

- ・ 莫大な資金
- ・ 高度な技術

そのようなものがあるのか？

オンラインサービス

コロナ禍で通信販売業界が発達（Amazonなど）
→Amazonとは違うスタイルのメルカリも参入

Amazon→B to C メルカリ→C to C

B to C（企業対消費者）

C to C（消費者対消費者）

スマホ一つあればできるので比較的簡単にはじめることができる上メルカリは消費者同士の取引となるため値切りなどの相手の需要に答えやすい

→だが消費者同士の取引故に詐欺などのトラブルが起きやすい

ご清聴ありがとうございました

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：奈良 グループ： 4班 2020.10.04

「不可逆的」 デジタル化社会において

デジタル化は「不可逆的」

2020年 情報通信白書より

参考：<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200804/k10012549461000.html>

- コロナでわかったデジタル化の問題点
今、求められるデジタル化とは
- デジタルとアナログの共生
- 「多様性」のための多様な選択肢

コロナ時のデジタル化の問題点
求められるデジタル化とは

コロナ時の問題点

- 繋がりが義務的に（→Zoom飲み会の例）
- 印鑑を多用（→印鑑のために出社）
- 同時接続による不具合（→回線ダウン）
- データの送信（→FAX）
- インターネット依存（→ゲーム）
- 知識不足（→政府、教員など）

デジタル化

- デジタル化は必要
- しかしアナログも必要

⇒ 求められるのは

双方のデメリットを打ち消す活用法

デジタル教育

- 「デジタルネイティブ」ではない組織の上層部の
人々にデジタル教育を施す→組織の効率化
- インターネット知識を世間に定着
→デジタル化に対応できる人材育成し、
インターネットトラブルを事前回避

「多様性」のための多様な選択肢

急速に変わる社会の中
「誰も取り残さない」ために

「誰も取り残さない」ために

具体的案

- 国家によるデジタル化の推進
- アナログ庁（デジタル庁に「デジタル弱者」を支援するグループを作る）

ご清聴ありがとうございました